

指定管理者に対する点検総括表

(点検対象期間：平成 30 年 4 月 1 日 から平成 31 年 3 月 31 日)

施設名	南三陸町ひころの里
指定管理者	入谷ふるさと振興会
指定期間	平成28年4月1日から令和3年3月31日
所管部署	農林水産課農林業振興係

所管部署所見

公平性、安定性、安全性に対する所見

(管理運営、公平確保、職員の配置、施設維持管理、修繕、備品管理、安全管理、個人情報の管理、情報提供、会計管理状況について総合的に記述。)

事業計画書に基づき、全般を通じて安定的かつ適正な水準で管理運営がなされている。施設貸出もルールに基づき適切に処理されている。

効果性、貢献性に対する所見

(利用者ニーズの把握・反映、自主事業の実施状況について総合的に記述。)

講習会や会議等に対応し、幅広い利用ニーズに応えている。

効率性に対する所見

(経費の削減について総合的に記述し、収支状況を添付。)

業務の合間で清掃、自主管理を行うなど、経費削減に努めている。

課題や今後の方向性についての意見等

(当該施設での指定管理者制度の課題や改善すべき方向性等について記述。)

情報発信や運営管理の方法に特に問題は見られないが、入谷地区の観光交流拠点施設として、他の施設と連携した体験交流の展開等、今後も一層の管理運営向上が必要となる。
また、地元住民の後継者育成に注力する必要がある。

審査委員会の意見

- ・他団体との連携を強化し、効果的な事業の展開を図られたい。
- ・後継者の育成に注力されたい。

指定管理者制度導入施設における業務点検評価表(期末モニタリング)

施設名	南三陸町ひころの里	評価対象年度	平成 30 年度業務
指定管理者	入谷ふるさと振興会	担当部署	農林水産 課
指定期間	平成28年4月1日から令和3年3月31日		農林業振興 係
施設の目的	本町の歴史的資源を総合的に管理して、次代に継承するとともに、郷土の文化を創造する機会を提供し、都市住民との交流及び情報の収集並びに観光レクリエーション活動施設の効果的活用の推進を図り、もって町民のゆとりある文化的な生活に寄与するものである。		
業務の内容	(1) 施設利用の許可に関する事 (2) 施設利用料金に関する事 (3) 施設及び設備の維持管理に関する事 (4) 自主事業の運営に関する事 (5) 利用者・施設の安全確保に関する事 (6) 個人情報保護に関する事 (7) 事業計画及び事業報告に関する事 (8) 管理運営のための体制に関する事 (9) 事故発生時及び災害時利用等の非常対応 (10) 指定期間満了に伴う引継ぎ業務 (11) その他ひころの里の利用を促進する業務		

総合的な評価		評価項目数
総合評価	年間を通してイベントの開催に努め、利用率向上に努めた。	A優良 : 4
評価事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ イベントを積極的に行って利用者増加に努めた。 ・ 制約がある中で、利用者のニーズに応えたサービスを提供している。 	B適正 : 9
改善事項	SNS等の活用を試みているが、更新頻度の増加など、さらなる情報発信の努力が必要となる。 宮城県博物館等連絡協議会に再加入したが、今後文化財管理方針を協議していく必要がある。	C改善 : 0

1. 施設の管理運営・事業	評価
仕様書、事業計画に基づき、郷土文化の発信に努めた様々な取り組みを実施している。 <年間延べ利用者数> ・ 松笠屋敷/シルク館 1,844人 ・ 施設利用者 9,035人 ・ 食堂 2,454人 ・ 体験 594人 合計 14,483人【計画 : 6,000人 (241%)】	A優良
2. 利用者の公平確保	評価
貸し出しルールに基づき、適正な手続きが行われている。 イベント・フリーマーケット・会議・講習会・研修・ボランティア等に利用	B適正
3. 職員の配置、研修等	評価
接客マナーに対する苦情はなく、適正な管理がなされている。	A優良

4. 施設の維持管理業務及び保守点検	評価
除草作業等の維持管理作業について、作業記録があり適切に管理されている。	B適正
5. 施設の修繕	評価
震災の影響により、異常が見られた場所に関して、仕様書のとおり町へ速やかに連絡がされている。	A優良
6. 備品管理	評価
備品台帳が整備されており、新規購入品等に関する聞き取り、又は現物を確認したところ、適正に管理されていた。 ＜備品の増減＞ ・なし	B適正
7. 安全(危機)管理	評価
防災マニュアルを整備しており、職員への安全教育も行き届いている。	B適正
8. 個人情報の管理	評価
個人情報取扱特記事項に基づき、適正な管理が行われている。	B適正
9. 利用者ニーズの把握・反映	評価
利用者との直接対話及びインターネットにより、要望等の意見集約を行っている。 要望への対応としては、高齢者・障害者等の施設利用の際は、敷地舗装内の車両の運行を許可し、施設への車両横付けサービスを実施している。	B適正
10. 自主事業の実施	評価
食堂の営業、繭細工製品販売を計画通り実施している。 ＜事業実施＞ ・別紙のとおり	B適正
11. 経費の節減	評価
業務の合間を利用し、清掃・維持管理を行うことによって経費削減を実施している。	A優良
12. 利用者への情報提供	評価
HPやSNS等を活用し、利用者への情報提供は定期的に行っている。	B適正
13. 会計管理	評価
会計システムを導入し、適正に管理されている。	B適正

利用者の要望とその対応状況

期日	要望内容	期日	対応状況

自主事業の実施状況

実施状況

※ 別紙資料添付による対応可

事業計画		実施状況			
随時	食堂の営業	随時	食堂の営業	1名～	郷土料理の提供
随時	繭細工の製品販売	随時	繭細工の製品販売	1名～	繭細工の製品販売

収支状況

※ 別紙資料添付による対応可

(収入)

単位：円

項目	予算額	決算額	比較増減	内訳
計	0	0	0	

(支出)

単位：円

項目	予算額	決算額	比較増減	内訳
計	0	0	0	